



# 河小だより

四日市市立河原田小学校

第12号 10月1日

学校教育活動が本格的に再開し、1週間がたちます。保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策について、ご理解、ご協力たまわりまして、本当に感謝しております。ありがとうございます。これからも感染症対策を徹底した上で、子どもたちの学びや体験活動をできる限り保障していきたいと考えています。ご心配やご負担をおかけすることもあろうかと思いますが、ご理解のほどよろしくをお願いします。

## ● ピンチをチャンスに

9月16日、17日の分散登校の1限目、リモートによる始業式を行いました。その中で子どもたちに2つの話をしました。1つは「感染症対策」。もう1つは、「ピンチをチャンスに」という話です。「これから始まる2学期はたくさんさんのピンチが訪れるかも知れません。そんな時、下を向いたり、あきらめたりするのではなく、『ピンチをチャンスに』の言葉を常に頭の中に入れておき、みんなで知恵を絞って、楽しいこと、うれしいこと、ほっとすることをたくさん作って行ってほしい。みんなでこのコロナの危機を乗り越えていきましょう。」と話しました。「できないこと」に目を向けるのではなく、「できないことの中にあるできること」に注目し、前向きに乗り越えていきたいと考えています。「ピンチはチャンス」と発想を変え、子どもたちとともに解決策を考え、取り組んでいく中で、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。



## ● 全国学力・学習状況調査の結果の報告

5月27日（木）に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。この調査は、全国の小学6年生および中学3年生対象に、毎年行われているものです。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全国の小中学校が臨時休校だったため、2年ぶりに行われました。この調査の目的は「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図り、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」となっています。先日その結果が届きましたので、概要をお知らせします。結果については校内で分析し、共有し、学校全体で今後の指導にいかしています。調査を受けた6年生の児童の個人の結果につきましては、本日、お渡ししますので、今後の学習に役立ててください。なお、この調査で測れるのは児童の学力の一側面であり、過度な競争等が生じないようにしていきたいと考えています。

**【国語】** 本校児童の平均正答率は全国平均と比べやや低い結果となりました。知識を問う問題については、全国平均値とほぼ同じ値でした。これに対して、文章を読みその特徴を示す適切な文を選んだり、条件に合うように要点をまとめたりする「話すこと・聞くこと」「読むこと」の正答率が、全国平均を下回りました。

**【算数】** 本校児童の平均正答率は全国平均と比べやや低い結果となりました。「知識・技能面」「思考・判断・表現面」ともに低い結果となりました。領域別では、グラフや表から特徴を読み取るなどの「データの活用」についての問題は全国平均正答率と同等でしたが、「数と計算」「図形」「測定」の領域は低い結果となってしまいました。形式別では、いくつかの答えの中から正答を選ぶ選択式の問題については全国平均と同等でしたが、自分で計算し答えを求める短答式や、理由等を説明する記述式については全国平均を下回ってしまいました。国語、算数とも無回答率は全国平均よりも低く、最後まで取り組む姿勢は高く評価できます。

以上のような結果を受け、文章を正確に読み取る「読解力」と、読み取ったものを分かりやすく伝える「表現力」の育成に力を入れていくことを校内で確認しました。具体的には次のようなことを確認しました。

- ★ 国語を中心にじっくりと文章と向き合わせる時間を設定し、その意図や要点を読み取らせるようにしていく。特に、「音読」の指導の仕方を再確認し、状況をイメージしながら読みとらせるようにする。
- ★ そのために、「接続詞に注意しながら読む」「段落ごとにキーワードを見つけ、要点を簡単にまとめながら読む」「情景や作者の気持ち等をイメージしながら読む」などの読み取るためのコツを指導する。

- ★ 算数の授業においても、じっくりと教科書の文章に向き合わせる時間を設定する。文章題では「文章の状況を実際の場面にイメージする」「何が分かっている、何を求めたいのか」「かけ算で求めるのか、割り算で求めるのか、わかりにくいときは簡単な数に置き換えて考える」等、考えるコツを指導する。
- ★ 授業では、「なぜそう考えたのか」「どうしてその結論にいたったのか」など、常に問いかけるようにしていくことで、考えを言葉で伝えるようにし、明確にさせていく。
- ★ 表現力の育成においては、自分の考えや理由などを書く機会をできるだけ多く取り入れた授業を行う。また、どのように書くと伝わりやすいのか、例文の文章構成を参考にさせながら書かせる指導を行う。また、文字制限やキーワードを使うなどの条件のある課題を与え、書く練習を行っていく。
- ★ 算数の授業においては、自分の考えや根拠などを、相手にわかりやすく伝える活動を取り入れていく。また、式や図、言葉の式などを使って自分の考えを書く機会を多く取り入れていく。
- ★ 授業の終わりの振り返りの時間には、授業のまとめや考えたこと、新たな疑問など、自分の言葉で書く時間を設定する。
- ★ 加えて、算数の時間には「読み上げ計算練習」を、国語の時間には漢字の書き取りや文法練習などを全学年で取り入れ、基本的な計算や漢字など、知識面・技能面の定着を図る。
- ★ 朝の学習の時間を活用し、短い文章を読解する機会を継続的に設定する。また、読書 Week を設定するなどし、読書に親しむ機会をもつ。

【児童質問紙】生活面や学習面等、69の質問がありました。この中で特徴的なものをお知らせします。

- 「自分には良いところがある」「将来の夢や目標がある」など、自尊感情に関わる回答率が全国平均よりも少し低い。
- 「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒の割合が全国平均よりもかなり低い。
- 塾等に行っている児童の割合、および、スマートフォン等の所持率は、全国平均と同等である。
- 「地域の行事に参加している」と答えた児童の割合は、全国平均と比べ、かなり高い。
- 学校でICTを取り入れた授業は、全国と比べずいぶん進んでいる。
- 「授業の中で、自ら課題解決に向けて取り組んだり、自分の考えを表現したりする機会が多くあった」と答えた児童の割合が全国平均よりも高い。また、「学級での話し合いなどを通して自分の考えが深まった」と答えた児童の割合も高い。
- 「算数の授業がよくわかる」と答えた児童の割合は全国よりも高い。
- 「算数の勉強が好き」と答えた児童の割合は全国平均よりも少し高かったが、「国語の勉強が好き」「英語の勉強が好き」と答えた児童の割合は、全国よりも低かった。
- 昨年度の休校期間中、勉強に対して不安を感じた児童は全国平均よりもやや少ない。計画的に学習を進めたと答えた児童の割合は多かったが、規則正しい生活ができたと答えた児童の割合は低かった。

これらの結果を受け、校内で次のことを確認しました。

- ★ 子どもたちの自尊感情を高めていくことが大きな課題である。その子の良さを見つけ、褒める機会をたくさん設けていく。また、成功体験や達成感を味わわせる機会を増やし、自信をつけさせていく。
- ★ 学級内での仲間づくりをすすめ、仲間とつながる機会や連帯感、帰属意識を味わわせる機会を多く持つ。また、家庭との連携も密にし、その子の良さを伝えていく。
- ★ どの教科においても、できる喜び、わかる楽しさを味わわせていく。また、教材自体のおもしろさ、奥の深さを実感させる授業を展開し、自ら学ぶ意欲を育てていく。そのために教材研究を十分に行い、子どもたちの考えや意見を多く取り入れ、その発言を価値づけていく。
- ★ 授業で考えを表現したり、交流し合ったりする機会を多く設定し、自分の考えが認められた時の喜びや他者とつながる喜び、意見交換等により自分の考えが広がる経験を多く持たせる。子どもの意見や疑問がつながるよう授業技術を高めていく。
- ★ 地域との関係をより深め、地域の良さを実感できる機会を多く設定し、「河原田で育ってよかった」「河原田が好き」という地元愛、郷土愛を育てていく。また、自尊感情の育成につなげていく。

【コロナウイルス感染症対策に関わるお願い】以下は出席停止となります。

- お子さんまたは同居家族の方が陽性になった。→自宅待機して下さい。学校に連絡して下さい。
- お子さんが濃厚接触者になった。→自宅待機して下さい。学校に連絡して下さい。
- 同居家族の方が濃厚接触者となった。→学校に連絡して下さい。
- お子さんまたは同居家族の方が検査を受けることになった。→自宅待機に協力して下さい。学校に連絡して下さい。
- お子さんにかぜ症状がある。→自宅で休養させてください。
- 同居家族の方にかぜ症状がある。→登校を控えてください。
- ★登校に不安がある場合は、ご相談ください。